



町会議員候補

日本共産党

あじさか省治

(57歳)

生まれ育ったふるさと鞍手町が、どうしたら魅力のある暮らしやすい町になるのか。人口減少をくい止めるため、安心して子育てできる町にする必要性を痛感しています。

これまで、いろいろな方の声を聞く中で、貧困と格差の広がりや営業と暮らしを取り巻く環境の厳しさにも触れてきました。

そうした折に『住民の苦難軽減』が立派の精神である日本共産党と出会い、弱い人の立場に立ち、日々の生活に密着しながら地に足のついた活動をしていることに共感しました。

私は、困っている人の力になれるよう、高齢者も若者も「鞍手に住んでよかった」と思えるよう、安心して暮らせる町づくりのために力を尽くします。皆様の応援をお願いします。

みなさんと力をあわせて

- ☆高すぎないゴミ袋料金の引き下げ
- ☆医療費を中学校卒業まで無料に
- ☆介護保険料、国保税の負担軽減
- ☆住宅リフォーム制度の拡充で町内業者の仕事増と地域活性化を
- ☆消費増税の中止
- ☆集団的自衛権行使と関連法案に反対し、「戦争する国（NVS）」の阻止



鞍手町議会議員候補

てるまさ 照明

(57歳)

「人や企業から選ばれる鞍手町」

鞍手インターの開通や企業の進出、北九鞍手大橋の開通、鞍手中学校の開校に伴う通学路の整備、街灯の設置など明るい兆しが見えますが、人口減少は進んでいます。

団塊の世代が75歳となる2025年問題や日本創生会議が公表した「消滅可能性都市リスト」では2040年には人口が1万人を割ると予測されています。

若い人が鞍手に住んで良かったと思われたいような「人や企業から選ばれる鞍手町」にする必要があると考えます。

- 一、健全財政の確立 行財政改革の推進
- 二、農業・商業・工業の活性化
- 三、定住人口の促進
- 四、福祉の充実
- 五、地産地消の推進

私は、以上の目標に向かって誠心誠意努力して参ります。



町会議員候補

日本共産党

うたがわ 宇田川 亮

(50歳)

皆様の応援をいただき、6期21年、町民の力が生きる町政をめざして、一般質問も欠かさずおこなってきました。

安倍政権は、「社会保障のため」と言って消費税を増税しましたが、介護・年金・医療・生活保護など、手当たり次第に切り捨てようとしています。このような国の悪政から、住民のくらしや福祉、子育てを守るのが地方自治体の本来の任務です。

私は、引き続き「町民が主人公」の立場で、町民のくらしと営業を応援し、教育と福祉を充実させるため、若さと経験を生かして、なおいつそう頑張る決意です。

皆様の応援を心からお願いたします。

みなさんと力をあわせて

- ☆高すぎないゴミ袋料金の引き下げ
- ☆医療費を中学校卒業まで無料に
- ☆介護保険料、国保税の負担軽減
- ☆住宅リフォーム制度の拡充で町内業者の仕事増と地域活性化
- ☆消費増税の中止
- ☆集団的自衛権行使と関連法案に反対し、「戦争する国（NVS）」の阻止



鞍手町議会議員候補

たかひろ 岡崎くにとひろ

(59歳)

鞍手町の未来をひらく7つの目標

若い世代が暮らしやすい町

- ・定住促進策の拡充
- ・第2,3子への助成制度の導入
- ・高齢者との交流の場の設置

子どもたちが個性豊かに育つ町

- ・小学校の規模適正化と教育環境の整備充実
- ・クラブ活動を小学校高学年から中学校まで一貫して指導

高齢者や障がい者が元気で安心して住める町

- ・高齢者向け運動公園の整備
- ・高齢者の見守り支え合い体制の確立
- ・障がい者の就労を支援し、社会参加を推進

地元商工業の発展向上

- ・商業地域の集約化と公共交通の整備
- ・行政と商工会が連携し、新規需要の開拓

安心、安全な暮らしを育む町づくり

- ・六田川や西川の浸水被害の解消
- ・空き家対策による防犯と景観の改善

伝統文化や芸術に親しみ心豊かに暮らせる町

- ・文化や芸術に親しめる文教施設の整備
- ・伝統文化を継承できる環境整備

農業経営安定化による所得水準の向上

- ・更なる地産地消と6次産業化の推進
- ・鞍手町の気候、風土に適した収益性の高い新たな農産物の開発と普及

プロフィール

S.30年 5月1日生まれ
 S.54年 大分大学経済学部卒
 同年 日興證券入社
 S.59年 赤門鍼灸整骨専門学校卒
 H.元年 くらで整骨院開業
 H.23年 4期目当選



鞍手町議会議員候補

久保田正之

鞍手町の活性化を目指して！

私の決意表明

- 一、調和のとれた町づくり
 - 土地利用の促進
 - 道路・交通・防災・防犯の施設整備
- 二、地域の特性を生かした産業基盤の整備
 - 農業の振興
 - 工業の振興
 - 商業の新興
- 三、人間性豊かな教育文化の振興
 - 高齢者、障害者に優しい福祉政策の促進
 - 少子化対策、児童の安全性を配慮した環境整備
- 四、鞍手インターチェンジを利用した環境整備の促進



鞍手町議会議員候補

すどう

須藤としお

変える！

今こそ鞍手町の

皆様の希望、夢が

現実へと。

皆様の声を

大切にします。



公明党公認
鞍手町議会議員候補

川野たかみ

六十九才

町議選に初当選、以来4期16年の議員生活を多くの方々に支えて頂き、全力で邁進することができました。これからも現場主義を貫き、鞍手町に住んで良かったと言われる「活気ある温かな街づくりめざして」全力で取り組んでいく決意です。皆さまのご支援を心からお願ひします。

魅力あふれる街づくりに チャレンジ!!

対話と行動で地域の声を町政へ

明日の街づくりに川野たかみのチャレンジ!!

- 一、災害に強い 地域づくり
- 一、支えあう 地域づくり
- 一、魅力ある 地域づくり
- 一、安心・安全な地域づくり
- 一、活力ある 地域づくり
- 一、定住したい 地域づくり



鞍手町議会議員候補

竹内りいち

56才

四五才とん

十二年の実績と八年間の反省

即戦力

子どもたちの未来に夢を。

- 新中学校の課題「通学路など」の早期解決
- 保育園・幼稚園児の就園補助金の増額
- 小中学生の健全育成に対する補助金の推進
- 若い世代の住みやすい補助金制度等
- カラー赤道等、安心・安全な通勤通学路の推進
- ゲリラ豪雨などの自然災害等に対する環境対策
- 巡回バス(買い物・病院・銀行・公共施設など)
- 鞍手インター・遠賀架橋の有効利用

夢と希望の持てる鞍手町に



田中ふみき

(54才)

鞍手町議会議員候補

すどう 信一郎

！のために 鞍手

新生「鞍手」を心に抱き、活動を続けます。

国は、「地方創生」を掲げ、地方を元気にすると言っていますが、地方はただ与えられるのを待っているは何も変わりません。変わるアイデアを出し、努力したところに支援する。これが、「地方創生」に関する国の方針です。

みなさん 鞍手が好きですか？ 私は・・・好きです！ ふるさとですから

先人がつくり、守ってきた「鞍手町」、その将来をともに創るために「鞍手町」と周辺自治体が協同して取り組むことが必要です。「鞍手町」という「点」ではなく、周辺自治体を含む「面」として捉え「鞍手町」独自の政策と周辺自治体と連帯して取り組む政策が地域の活性化に繋がると、私は思っています。

行政の取り組みと方向性を監視するために、「田中ふみき」に仕事をさせてください。



私の基本姿勢

- 一、子育て世代に喜ばれる町づくり
少子高齢化と云われる現在、若い人達が子供を生み育てる環境を作っていかなければなりません。子育てを社会全体で支援することが必要です。町民全体で応分の負担をし、子供の声のあふれる町にしようではありませんか。
 - 一、男女共同参画社会の推進
一九九九年日本でも男女共同参画基本法と云う法律が制定されました。二〇〇〇九年には鞍手町においても男女共同参画推進条例が制定されています。
 - 一、人口の減少により北欧諸国のように女性の社会進出が期待されています。女性が働く事の出来る職場環境を整える事が、人口減少に歯止めをかける要因となる可能性があります。
 - 一、町全体で男女共同参画社会の推進に努めましょう。
 - 一、平和憲法の厳守
戦争を体験している方々が年々少なくなっています。戦争を体験した人で戦争を肯定する人は誰もおりません。平和ボケと云われようとも自衛隊を戦場に出す国にはなりません。国政の問題ではありますが、平和憲法の維持を求めて頑張りたいと思います。
 - 一、町政に対する取り組み
真摯な姿勢で個々の問題に取り組んでゆきます。
 - 一、住民目線を基本とした姿勢で鞍手町全体の展望を計ってゆきたいと思っています。
- 消滅町村筆頭などと評論家諸子に云わせない鞍手町にすべく行政と共に町の進展に努力していく決心です。



ゆきのり
くりた幸則

鞍手町議会議員候補

◎私の目指す町づくりの取り組み

活力あふれる鞍手町の実現を為すべく、次のことに取り組んでいます。

- 一 地場産業の育成、振興
鞍手インターチェンジ、北九鞍手夢大橋など新たな社会基盤整備を最大限に活かしながら企業誘致、住宅団地の誘致を推進します。
- 一 雇用対策
企業誘致、住宅団地の誘致により若い人たちの雇用の場を広く、町内で生活できる生活環境を整備し、若い人たちが定住できる町づくりを目指します。
- 一 少子、高齢化対策
安心して子育てができる環境づくり、幼稚園、保育所、学童保育制度の充実、高齢者福祉の充実と社会参加の推進。
- 一 教育環境の整備
次代を担う子供たちの育成資金の支援、社会全体が子供たちの健全育成の為に心を合わせて取り組む仕組みづくり。
- 一 鞍手町に於ける町づくりの推進
町政や地域社会の生役である町民の皆様との協働により、活力あふれる町づくりを目指してまいります。



須山由紀生

鞍手町議会議員候補

「5」の活動指針

- ☆ 障がい者や高齢者の方々の生活支援。
- ☆ 困った人、弱い立場の人に手を差し伸べる町政を。
- ☆ 次代の社会を担う子供たちのための、子育て支援の充実を。
- ☆ 北九鞍手夢大橋からインターチェンジ周辺の、「5」字ラインの活性化を。
- ☆ 「一極集中型」の町政の確立と複合施設等の設置の促進。



町議会議員候補

ほし 正彦

鞍手町を！
元気で自立できる故郷へ

ご存知ですか！
このまま何もしなければ鞍手町が消滅？

私の決意

民間の有識者会議である日本創生会議が独自の予測による二〇四〇年の人口推計を発表し、全国八九六の消滅可能性都市を公表しました。鞍手町は不名誉にも福岡県内でワースト一位となっています。

しかし、これは予測であり、このまま「何も手を打たなければ」施策を講じなければ」ということが前提であります。

今、この町に求められているのは、この危機からいかに脱却するかであり、今後の努力次第であります。

厳しい時代だからこそ、自らの判断と責任のもとに地域のことは地域で決めることが強く求められています。

確かな町の将来像をみなさんと共に考え、知恵を出し合い力を合わせ、まっすぐ、ひたすらに活力ある町づくりに全力投球いたします。

